



西徳寺だより

12月号

Vol. 161

令和七(二〇二五)年十二月発行 編集発行 藤田 尊徳
 TEL 0949-21-0636 FAX 0949-21-0667 MAIL <https://saitokuji-t.net>
 净土真宗本願寺派 覚音山 西徳寺



「西徳寺仏教婦人会 令和六年度の総会報告」

(総会並びに追悼会の開催日の変更等について)

西徳寺仏教婦人会会长 伊藤 紀代子

日頃より、仏教婦人会活動にご協力、ご支援を戴き、誠にありがとうございます。

さて、コロナ禍頃より、我が仏教婦人会においても高齢化、過疎化、少子化等の諸問題が現実の事となりました。

お寺様のご意見を戴き、役員会において打開策について様々の議論を重ね、仏教婦人会単独で総会並びに追悼会の開催を維持することは、経済的にも困難との事に至りました。

これを受けて、令和六年十一月の総会において、次の三件の提案を致しました。

① 仏教婦人会総会並びに追悼会の開催日については、令和八年より五月の永代経法要の初日に開催する。

② 慶弔費については、往生された会員様に、ご仏前として参千円をお供えする。

③ 年会費については、壱千円とする。

※ 但し 令和七年度の年会費については、
追悼会を行わないため戴かない。

※ 令和八年度よりの年会費は総会日前後に納入をお願いする。その結果、現状を考えると、やむを得ないのではと、三件共に承認を戴きました。

先輩お同行から受け継がれた総会並びに追悼会の形は時代の流れの中で変わることになりますが、これからもお聴聞を大切にする姿勢は変わることなく、仏教婦人会の発展に勤めて参ります。ご報告が遅くなりましたが事をお詫びしますと共に、今後共、仏教婦人会活動にご支援・ご協力を賜ります様、お願い申し上げます。

合掌



「報恩講」のご案内

「報恩講」は、浄土真宗の開祖 親鸞聖人の御命日（一月十六日）にあたり、眞実のみ教えをお示し下さった親鸞聖人に感謝し、阿弥陀さまのお救いをあらためて心に深く味わう法要です。

「報恩講」という名称は、親鸞聖人のひ孫である本願寺第三代覚如上人が、聖人の三十三回忌にあわせて『報恩講私記』を著されたことに由来しています。以来、七百年を超える歴史の中で、先人たちがその伝統を脈々と受け継ぎ、も大切な法縁です。

ぜひお誘いあわせの上、お参り下さい。

・ 日 時 一月十二日（月） 昼座



※朝座 午前十時より、昼座 午後一時三十分より

・ 講 師 山口県石国市 超専寺 田坂 亜紀子師

※御華束（御仏前をお飾りするお餅）はお寺で準備いたします。

「西徳寺寄席」のご案内

同封したチラシにもありますように、来年二月、上方落語家 三代目 林家 菊丸師匠をお招きして「西徳寺寄席」を開催します。

西徳寺の恒例行事として定着してきた感のある西徳寺寄席。この度も、本堂が皆さんのが笑い声で満たされることを楽しみしております。

・ 二月十四日（土） 開場 午後一時

開演 午後一時三十分～

休憩を挟んで午後三時まで二席

※木戸銭（入場料） 無料

※事前予約の必要はありません。

※西徳寺寄席にご都合が合わない方は、宮若市 法蓮寺様、鞍手町 真教寺様でも開催されますのでそちらでもどうぞ。

納骨堂「清淨殿」のカギに関して



西徳寺にある三つの納骨堂。出入口のカギはお寺で一括管理しておりますが、「清淨殿」のみ納骨壇にカギがあり、そのカギは加入の方にお渡ししております。最近そのカギを紛失したり、そもそもカギがあることを知らない方が増えて来て、納骨の時に困るケースが出来ました。お寺にマスターキーがありますので納骨壇は開けられます



年末年始の本堂・納骨堂 お掃除とお荘厳について

西徳寺本堂の年末大掃除と各納骨堂の年末年始のお掃除・お荘嚴を左記の日程で行います。作業時間は一時間程度です。

どうぞご協力お願ひします。

・本堂 年末のお掃除

十二月二十五日(木) 午前九時より

・納骨堂 年末のお掃除とお正月のお荘嚴

十二月二十五日(木) 午前十時より

・納骨堂 年明けの片付け

一月五日(月) 午前十一時より

※納骨堂のカギは年末年始いつでもお参り出来るよう開けておきますのでどうぞご自由にお参り下さい。



「年越ししそば・うどんの振る舞い」のご案内

コロナ禍での中断を経て昨年再開した除夜会での「年越ししそば・うどんの振る舞い」。今年も、大晦日(おおみそか)の午後十一時四十五分ごろよりお振る舞いをさせていただきます。



コロナ禍前は鐘撞き堂のすぐ横で振る舞いを行つておりましたが、昨年よりプロパンガスのボンベを借りることが出来なくなりたため、場所を

第一駐車場(保育園とお寺の間の駐車場)に移して、お寺の厨房

を使っての振る舞いとなつておりますのでご注意下さい。

どうぞ西徳寺の阿弥陀様のご尊前で一緒に新年をお迎えいたしましょ。

令和八(二〇二六)年年回表

来る令和八(二〇二六)年は、左記の年に往生された方の、年回の年となつております。

改めてお寺より個別にご案内をお出し致しますが、どうぞ各自家庭でもお仏壇の過去帳・板位牌等をご確認下さい。

(二十三回忌・二十七回忌を勤める地域もありますが、西徳寺では二十五回忌の案内をさせていただいております。)

一月の用忌参りについて

一月の用忌参りについてですが、一日～四日までをお休みとし、五日より通常通りお参りを始めさせて頂きます。ただしその期間でも祥月命日の方はお約束通りお伺いいたします。

回忌	年号	回忌	年号
一周忌	令和七年	一周忌	令和二十二年
三回忌	令和六年	三回忌	平成十四年
七回忌	令和二年	七回忌	平成二十二年
十三回忌	平成二十六年	十三回忌	平成二十四年
五十回忌	昭和五十二年	五十回忌	昭和五十二年
三重回忌	平成六年	三重回忌	平成六年

毎月の法座と一月五日「合同初法座」のご案内

西徳寺では年五回の法要の他に、毎月次の日程で法座を開いて、一人でも多くの皆さんに阿弥陀様のお話に触れていただく縁を作っております。

左記の表の通り、それぞれ壮年会・婦人会例会となっていますが、内容は「聞法会」ですので年齢・性別に関係なく、お気軽におり下さい。

日 に ち	時 間
四 日	午後一時半より三時半まで
五 日	昼 座(壮年会例会)
ゆいの会例会・コーラス練習	（一月のゆいの会はお休みです。）
毎月第二金曜日	午前十時より十二時まで



※ 一月は一日の法座も、四日の壮年会例会もお休みとし、五日の正午より壮年会・婦人会・ゆいの会合同初法座を行います。
初法座後は初寄りとしてお酒をお出ししますので、呑まれる方は車での来寺をご遠慮下さい。

絵手紙教室のご案内

「ヘタでいい、ヘタがいい」が合言葉。

皆さんのが参加をお待ちしております。

・講師 直方市感田 油布 紀美子先生
・場所 西徳寺門信徒会館

・会費 500円を参加した時だけ
・第二百八三回 十二月二八日(金)
・第二百八四回 十二月一九日(金) 午後一時三〇分より
・第二百八五回 一月二三日(金)
・第二百八六回 二月二七日(金) 三時三〇分まで

おわりに

先日読んだ大阪万博に関する新聞記事。「大屋根リング」の木材の一部が能登半島地震の被災地へ譲渡され、復興住宅に使われる等、万博の「その後」を伝える短い報告記事は「万博の真価は閉幕後にこそ問われる。」との言葉で閉じられていました。

私たちは行事・イベントを終えると「やれやれ疲れた」で何も振り返ることなくおしまいといふことがよくあります。

西徳寺においても各種法要の他、「子どもまつり」や「お寺マーケット」、「バスハイク」など様々なイベントを行いましたが、「その後」を大切にしているかと問われて、いよいよでした。来る令和八年は、行事そのものだけでなく、「その後」も意識して皆様と共にお念佛の道を歩んで行きたいと考えております院

